

【特集】 戦後 80年

今年^{今年}は戦後80年です。今から80年前の昭和20(1945)年3月13日深夜、初めての大阪大空襲が行われ、大阪市内を中心に甚大な被害を受けました。終戦前日の8月14日に最後の大阪大空襲により、大阪城周辺にあった大阪陸軍造兵廠(大阪砲兵工廠)に対して集中攻撃が行われた際、落とされた1トン爆弾の流れ弾が数発、JR京橋駅へ落ちました。うち1発が、多数の乗客が避難していた片町線ホーム(現JR学研都市線)の高架上の城東線(現JR大阪環状線)を突き抜け

て落ちたため、明らかなだけでも200名を超える尊い命が犠牲になりました(実際には500名とも600名とも言われています)。

その時に何があったのか、当時京橋駅で学徒動員として勤務されていた山崎稲子さんの戦争体験談を、爆撃被災の状況が記された「歴史の墓標」よりご紹介します。

引き継がれた記憶を通じて、戦争の悲惨さを知り、平和について自分なりに考える機会にしたいだけと幸いです。

戦争体験

～ 祈 り ～

大阪市 山崎 稲子 (当時京橋駅で学徒動員として勤務していた。)

その時ドドドッと、ものすごい地響と共に上下左右に激しく揺れ私達は肩を寄せ合って一言も発する事なくただ震えていた。昭和二十年八月十四日、国鉄京橋駅の粗末な枕木の防空壕の中である。私は当時学徒動員で、京橋駅に勤務させられていた。二十年八月十四日の昼前大阪陸軍造兵廠に落とされた爆弾のそれ弾が駅に落ち一トン爆弾という当時では一番大きい弾が七、八発広くもない駅に落ちたのだから其の惨状は今でも眼裏に焼きついている。私達学徒は、其の日に限って何時もの定められている壕に入らず駅職員専用の壕に入ったのだが、それが九死に一生を得る事になった。何度か爆弾の落ちる度に、はげしく揺れる壕の中で愈々死を覚悟していたが、やがて静かになり壕から出て、あまりの光景に茫然と立ちすくんだ。それは将しく此の世の地獄絵であった。駅から避難しなかった人々それに電車が入って来た所に爆弾投下された故か何百人らしい人々の一瞬にしての死体、京橋駅では片町線も交差し石壁が多かったが其の石片が無惨に飛び散りその下敷になったり爆風で飛ばされたり、又、爆弾池などと云っていたが投下した所が大きい池になり其の中で溺れ死んでいたり私達の避難すべき壕では一般の方が生埋めになっていたり助かったのは自分達の一握りの人数であった。気を取り直し石片を踏みながら裏駅へと歩いたが私の踏んだ石の下から人の顔とまともに合った時、身が凍り足は棒立ちになった。其の人の命はすでに無いのだが…

又、虫の息で呻く人々も私達の手を握り自分の住所を訴えられるのだが私達は恐しさばかりで、しっかりと聞き届け得なかった。

今でも其の人々の顔が浮かび悔いとなって私を責める。たくさんの死体運びを手伝いながらも足の震え



▲大阪砲兵工廠への爆撃を堂島の毎日新聞社屋上から撮影 (提供 毎日新聞社)



▲大阪砲兵工廠跡 (樹林舎『大阪市今昔写真集 北部版』より)



▲京橋駅爆撃から10か月後の京橋駅 (日本国有鉄道百年写真史より)

や涙の流れが止まらなかった事を昨日の事の様に思い出せる。あくる八月十五日終戦という事だがそれなら何故、昨日亡くなられた人々は何だろうと新に悲しさが口惜しさが胸を覆った。あれから三十七年、京橋駅は大きく変り発展しているが京橋駅に立つ時、あの日あの時あの声が私の耳から眼から消える事は無い。終戦後家族に会えた遺体もあるが今だに誰も会え得ない遺体もある。そんな霊達には私は祈る事しか出来ない、二度と戦はずまじと誓いどうか安んじ給えとただ祈る、深く祈る、今

の平和の壊れない事を切に祈る

亡き魂を鎮めて匂ふ百合白し
戦すめど爪跡の
深く残りし幾年月
たゞ安らけく眠らせと
霊に捧げて祈るのみ
あゝ 祈るのみ

合掌

(歴史の墓標(国鉄京橋駅爆撃被災記録(第二集))より)



聖賢小学校での取り組み

6年生は、ピースおおさか(大阪国際平和センター)を訪れ、4人1組のグループに分かれて、戦時下での生活や大阪大空襲を体験された方の証言、実物資料の展示等を見学し、自分たちが学んだことや感じたことをパワーポイントにまとめました。6月末に行われた平和集会では、6年生代表により、大阪大空襲の際に聖賢小学校が避難所となった歴史や、折り鶴を折る意味等が発表されました。

5年生は、絵本を通じて、当時の人々のようすや戦争の悲惨さ、命の大切さを知り、平和の尊さを感じ取りました。

また、聖賢小学校の児童全員が折った色とりどりの鶴は、京橋駅空襲被災者慰霊祭に捧げられます。



▲平和集会のようす



京橋駅空襲被災者慰霊祭



▲昨年の慰霊祭のようす

※慰霊祭で戦争・平和に関する作文を朗読してくれる中・高校生を募集しています。

詳しくは問合せ先まで。

【問合せ】

京橋駅慰霊祭世話人会

(事務局 妙見閣寺)

☎4254-8115

✉myokenkakuji@gmail.com

京橋駅空襲の犠牲になられた方々の霊を弔うため、毎年8月14日にJR京橋駅南口付近の大阪大空襲京橋駅爆撃被災者慰霊碑の前で慰霊祭が執り行われています。

今年も8月14日(木)11時より、第71回京橋駅空襲被災者慰霊祭が執り行われます。



平和祈念像



JR京橋駅南口を出てすぐのところに、「平和よ永遠なれ」と記された平和祈念像があります。昭和59(1984)年8月、犠牲者の慰霊と平和を祈念して、大阪城東ライオンズクラブの寄贈により建立されました。